

Comcast、Red Hat トレーニングで自動化と OpenStack 管理のスキルを強化



業種
通信

ソフトウェアおよびサービス

Red Hat® トレーニング

Red Hat OpenStack® Platform

Red Hat Ansible
Automation® Platform

米国ペンシルベニア州フィラデルフィアに本社を置くアメリカの通信コングロマリット、Comcast は、世界第 2 位規模の放送事業およびケーブルテレビ事業を運営しています。

課題

Comcast は、ハイブリッド環境とマルチクラウド環境のスピード、スケール、複雑さの増大に対応するため、適切なレベルのガバナンスと制御を設けたうえで、複数のプロジェクトとチーム全体で自動化機能を作成、共有、再利用できるようにする必要がありました。同社は Red Hat の自動化とプラットフォーム・テクノロジーを導入しましたが、そのテクノロジーに関するチームの専門知識を向上させたいと考えていました。

ソリューション

Comcast の音声エンジニアは、5 日間のオンサイトトレーニングで、Red Hat Ansible Automation Platform と Red Hat OpenStack Platform の管理について、ハンズオンラボを含む Red Hat トレーニングコースを受講しました。

メリット

- 専門家の指導による実践的なカリキュラムで、自動化と OpenStack 管理の実装、管理、トラブルシューティングの経験を獲得
- 音声エンジニアリングのネットワークにおける自動化およびクラウドテクノロジーのサポートと統合を改善
- Red Hat テクノロジーの本番環境での使用効率を向上

「Red Hat トレーニングによって、Comcast の音声エンジニアは、当社のネットワークにおけるクラウドテクノロジーのサポートと統合を改善することができました。Red Hat のエンジニアとインストラクターはすばらしく、コース中もコース終了後もフィードバックをもらうことができました。クラウドプラットフォームやクラウドサービスの導入を進めている組織に、このコースをお勧めします。」

Comcast
音声エンジニアリングマネージャー
Nelson Beville 氏

redhat.com/ja/success-stories



fb.com/RedHatJapan
twitter.com/RedHatJapan
linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com
#F21415_0120